

加藤 幹  
知的基盤総合センター 特任教授(常勤)

【研究】

- 1 発明の進歩性の判断における効果の位置付けについて研究を行い、論文としてまとめ、発表した（パテント 73 巻 9 号 41 頁）。
- 2 特許法についての学説の動向を分析し、記事としてまとめ、発表した（『年報知的財産法 2020-2021』146 頁（日本評論社，2020 年 12 月））。
- 3 意匠の類否判断における公知意匠の参酌について研究を行い、論文としてまとめ、投稿した。
- 4 茶園成樹編『意匠法 第 2 版』（有斐閣，2020 年）が出版された（「第 6 章 意匠登録出願手続」及び「第 8 章 審判制度」を執筆）。
- 5 茶園成樹編『知的財産法入門 第 3 版』（有斐閣，2020 年）が出版された（「Unit4 特許法(3)-発明者・冒認出願・職務発明」及び「Unit5 特許法(4)-出願，審査・審判」を執筆）。

【教育】

- 1 法学研究科「特許法 1」（4 単位）を担当した。必要に応じて技術的・法律的専門事項を丁寧に説明するように努めた。
- 2 法学研究科「総合演習（企業における知的財産戦略）」（2 単位）を担当した。知的財産協会と協力するなどして企業において知的財産戦略の立案・遂行を担っているゲストスピーカーを招き、実践的な内容とするように努めた。
- 3 法学部「演習 1 a」、「演習 1 b」、「演習 2 a」、「演習 2 b」（各 2 単位）を担当した。行政法、民法、民事訴訟法といった基礎法の復習にもなる内容となるように努めた。
- 4 全学共通教育科目「法学の考え方」（2 単位）、「知的財産モラル」（2 単位）を担当した。特許製品の実物を紹介したり、受講カードに記載された質問について次回の講義で解説を行ったりするように努めた。
- 5 情報科学研究科、基礎工学部、理学部、基礎工学研究科、理学研究科、医学部医学科において知的財産に関する講義を担当した。知的財産制度の社会的意義や科学技術との関わり合いを丁寧に説明するように努めた。

【管理運営】

- 1 知的基盤総合センターの研究企画委員会、財務委員会及び知的教育推進委員会の各委員長として、それぞれ所定の業務を遂行した。

【社会貢献】

- 1 学外における委員会等

(1) 知的財産大学院協議会 理事 (2018年4月～)

## 2 学外における講演・講師等

(1) 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科「知的財産権」(2単位) 講師 (2020年8月)

(2) 特許庁令和2年度審査官補コース研修「特許審査の概要」講師 (2020年5月)

(3) 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校「ビジネスマネジメント II」特別講義講師 (2021年2月)

## 3 その他

(1) 工業所有権協力センター大学知財活動助成事業「医看工芸連携における共創型知的財産マインド養成プログラムの開発-J-PlatPat とミエルカノートの活用」協力 (2020年6月～)